

パシフィックシステム株式会社
平成22年3月期
第2四半期累計連結決算説明資料

平成21年12月7日

代表取締役社長 増古 恒夫

- **第2四半期累計連結決算概況**
- **通期業績予想**
- **1 1 中期経営計画の進捗状況**

第2四半期累計 連結決算概況

平成22年3月期第2四半期累計 連結決算概況

➤ 減収・増益となりました

平成22年3月期第2四半期累計 トピックス

主なIR情報

- ◆ 6月19日 定款の一部変更
(株券の発行、単元未満株券不発行、実質株主に係る各規定削除)
- ◆ 9月30日 シンジケートローンによるコミットメントライン契約締結
- ◆ 10月1日 100%子会社である株式会社システムベースと同社の完全子会社である株式会社リンクが合併

平成22年3月期第2四半期累計 トピックス

施策上のトピックス

◆ 重点施策への取り組み

- ・ 基本方針は、「顧客満足度向上の追求」
- ・ 経営資源の集中をスピーディーに実施
- ・ グループ内の経営資源を優先的に活用
- ・ 全社員を対象に、階層別社長懇談会を実施

◆ 新商品の市場投入

- ・ ERPパッケージ
 - ・ 事業継続計画
- 食材製造業向けオールインワンERPパッケージ
パンデミック対策シンクライアントUMPCソリューション
遠隔データ会議ソリューション

平成22年3月期第2四半期累計 連結決算ハイライト

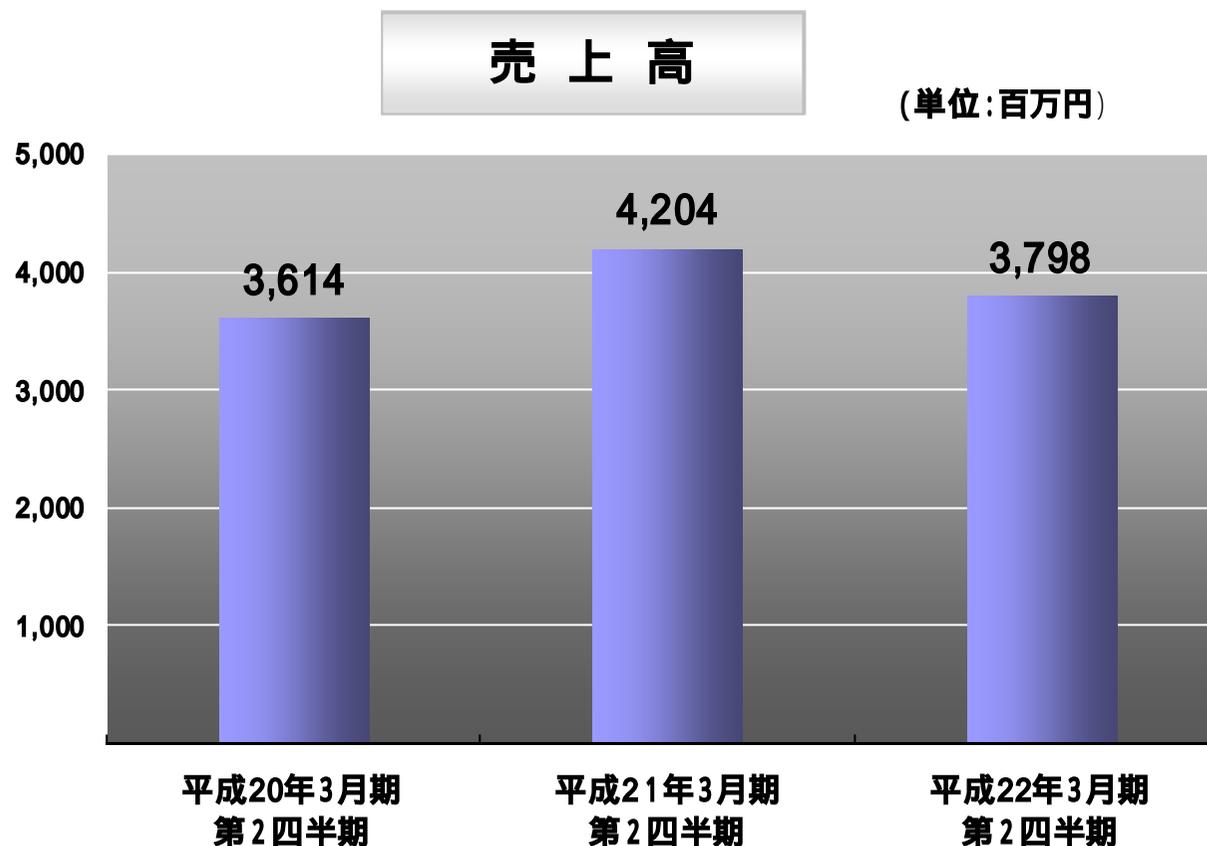
連結累計期間業績

(単位:百万円)

	平成21年3月期 第2四半期累計 (A)	平成22年3月期 第2四半期累計 (B)	前年 同期比 (B - A)	増減率
売上高	4,204	3,798	406	9.7%
売上総利益 (利益率)	803 19.1%	862 22.7%	59	7.4%
販売管理費	746	722	23	3.2%
営業利益	56	139	82	146.2%
経常利益	59	130	70	118.4%
四半期純利益	38	71	33	88.7%

- 売上高は、大型案件の長期仕掛化並びに前年度下半期からの情報化投資の抑制等により減少しました。
- 利益は、コスト削減及び緊急対策の実施により増加しました。

平成22年3月期第2四半期累計 連結売上高の推移



大型ソフト開発案件の長期仕掛化並びに前年度下半期からの
情報化投資の抑制等により、減少しました。

平成22年3月期第2四半期累計 事業区分別の概況

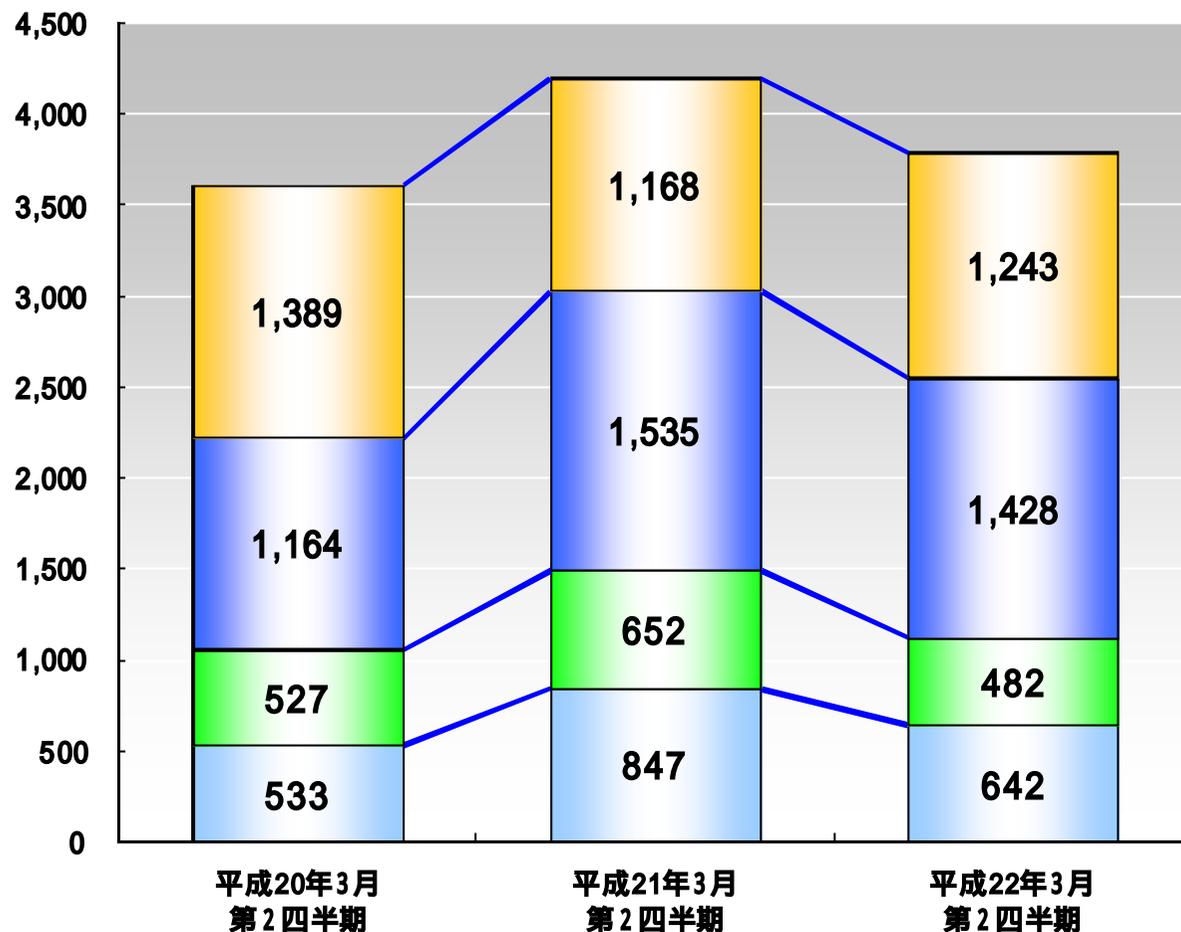
区分	内容	売上高 (百万円)	前年同期 (百万円)	前期比 (%)
システム販売	・画像処理システム ・農業生産管理システム ・生コン業界向けシステム ・自社パッケージシステム	1,243	1,168	6.4%増
システム運用・管理等	・ユーザシステムの運用・管理サービス ・アウトソーシング・データセンタ	1,428	1,535	6.9%減
ソフトウェア開発	・製造・流通・金融業等のアプリケーションの受託開発	482	652	26.0%減
機器等販売	・パソコン・サーバ及び周辺機器 ・パッケージソフト等の販売	642	847	24.2%減
合 計		3,798	4,204	9.7%減

- 「システム販売」は、画像処理システムで前年度延期された案件の復活、農業生産管理システムの増加及びインフラサービスの増加等により増加しました。
- 「ソフトウェア開発」は、大型案件の長期仕掛化並びに情報化投資の抑制等により減少しました。
- 「システム運用・管理等」は、データセンター業務は堅調に推移しましたが、システム運用支援業務及びコンサルテーション業務の減少により減少しました。
- 「機器等販売」は、情報化投資の抑制等により減少しました。

平成22年3月期第2四半期累計 事業区分別業績

売上高

(単位:百万円)



システム販売

- 画像処理システムは前年度延期案件の復活
- 農業生産システムは堅調

システム運用・管理等

- データセンター業務は堅調
- システム運用支援・コンサル業務は減少

ソフトウェア開発

- 受注減少等により減少

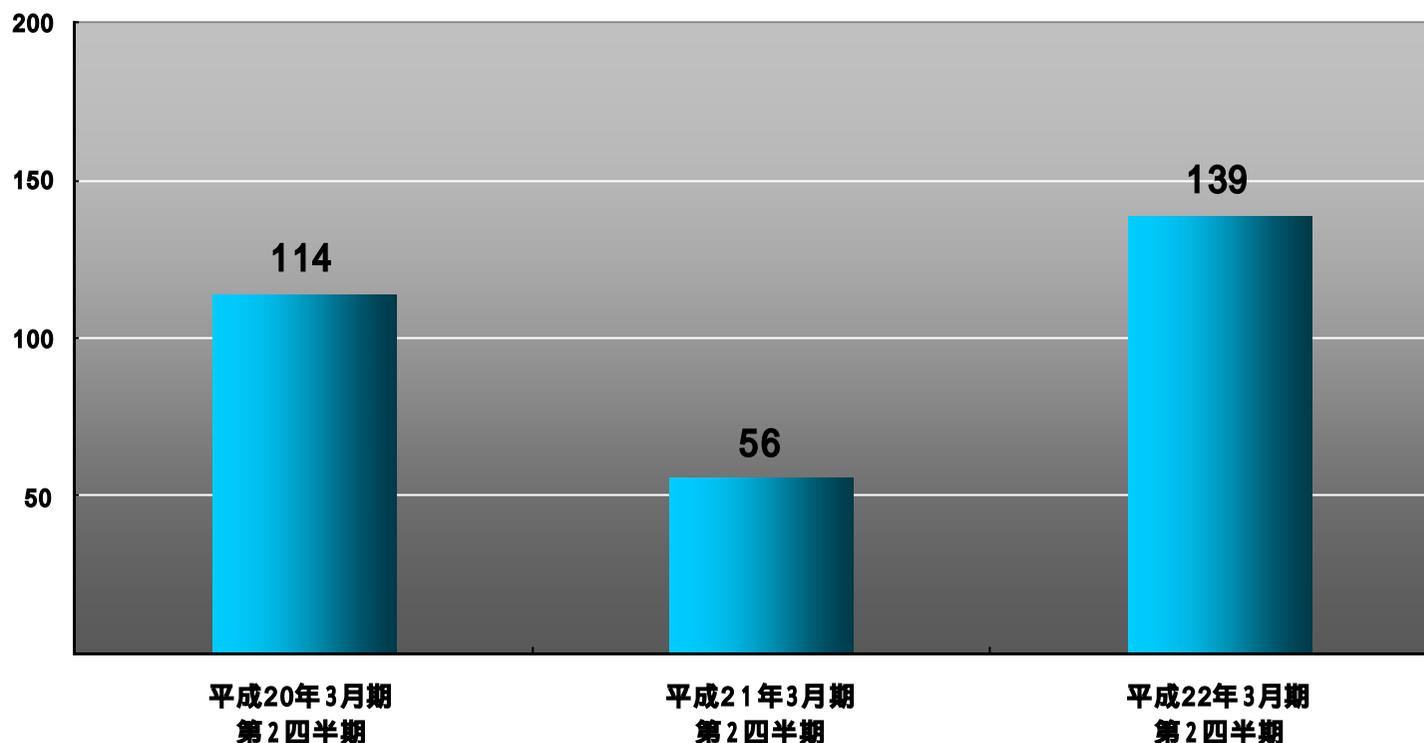
機器等販売

- 低調に推移し減少

平成22年3月期第2四半期累計 営業利益の推移

営業利益

(単位:百万円)



- 売上の減収に対し、外注費削減と開発要員の稼働率確保並びに役員報酬の減額及び従業員賞与の一部カットの実施等により、増益となりました。

平成22年3月期第2四半期累計 連結財務諸表

(単位：百万円)

資産の部		負債の部	
		流動負債	1,544
		固定負債	406
		負債合計	1,951
		純資産の部	
		純資産合計	2,675
流動資産	2,920		
固定資産	1,706		
資産合計	4,626	負債・純資産合計	4,626

一株当り純資産 1,807円 80銭

第3・4四半期の取組み

第3・4四半期 重点施策

重点施策

- ◆ 『顧客満足度向上の追求』への施策
 - ・ 画像処理システム
 - 独自技術による新たな市場の開拓
 - 営業・開発要員の増員による事業拡大
 - ・ 中堅企業向けERPビジネス
 - 営業強化による、顧客獲得
 - ・ 自社パッケージシステム
 - 他社との営業連携による顧客拡大
- ◆ 既存ビジネスへの施策
 - ・ プロジェクト管理体制強化による利益確保
- ◆ 収益改善への施策
 - ・ 受注確保
 - ・ グループ内経営資源の活用によるコストセーブと要員稼働率の維持向上
 - ・ 全社的な『ムダ排除活動』の推進

平成22年3月期 通期業績予想

平成22年3月期 通期連結業績予想

(単位:百万円)

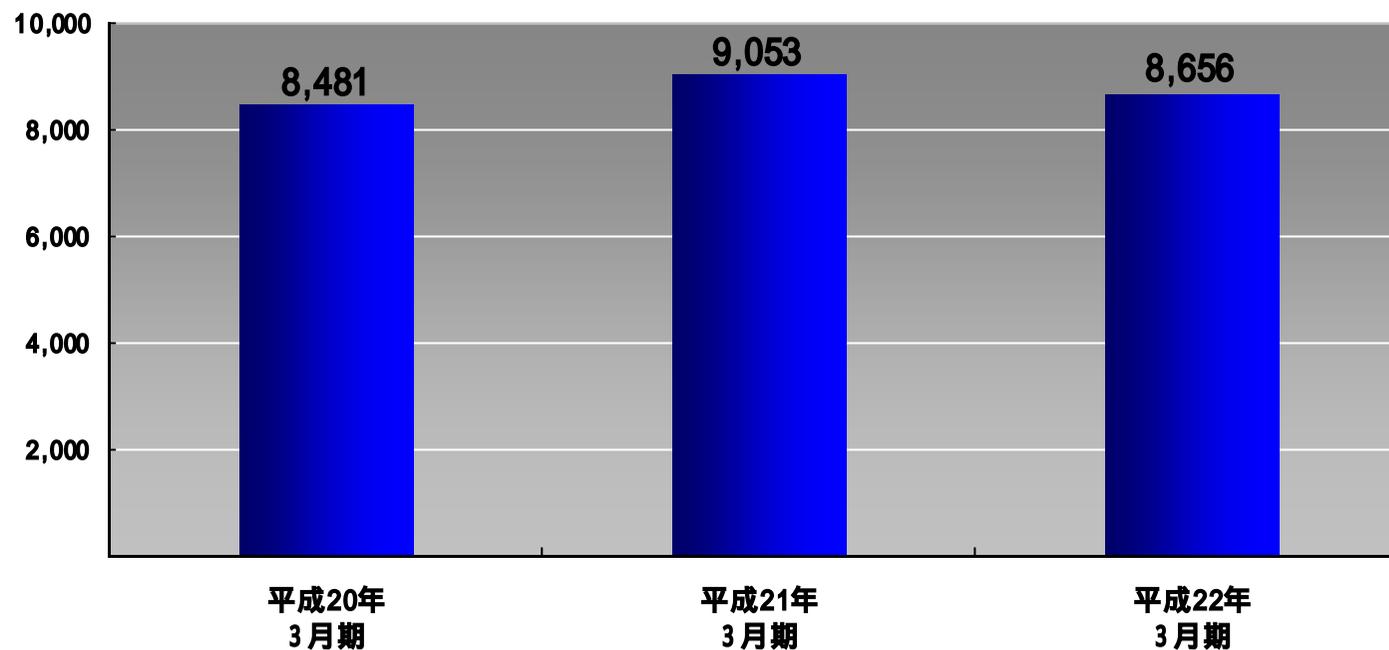
	平成21年 3月期 (A)	平成22年 3月期 (B)	前期比 (B - A)	増減率
売上高	9,053	8,656	396	4.4%
売上総利益 (利益率)	1,804 19.9%	1,798 20.8%	6	0.4%
販売管理費	1,452	1,487	34	2.4%
営業利益	352	310	41	11.8%
経常利益	356	298	58	16.3%
純利益	181	178	2	1.6%

- 売上高は、受注が計画通り進捗しておらず、厳しい状況が継続する見込みです。
- 営業利益は、売上減収の影響により減益の見込みです。

平成22年3月期 連結売上高予想

売上高

(単位:百万円)



受注が計画通り進捗しておらず、厳しい状況が継続する見込みです。

平成22年3月期 事業区分別の予想

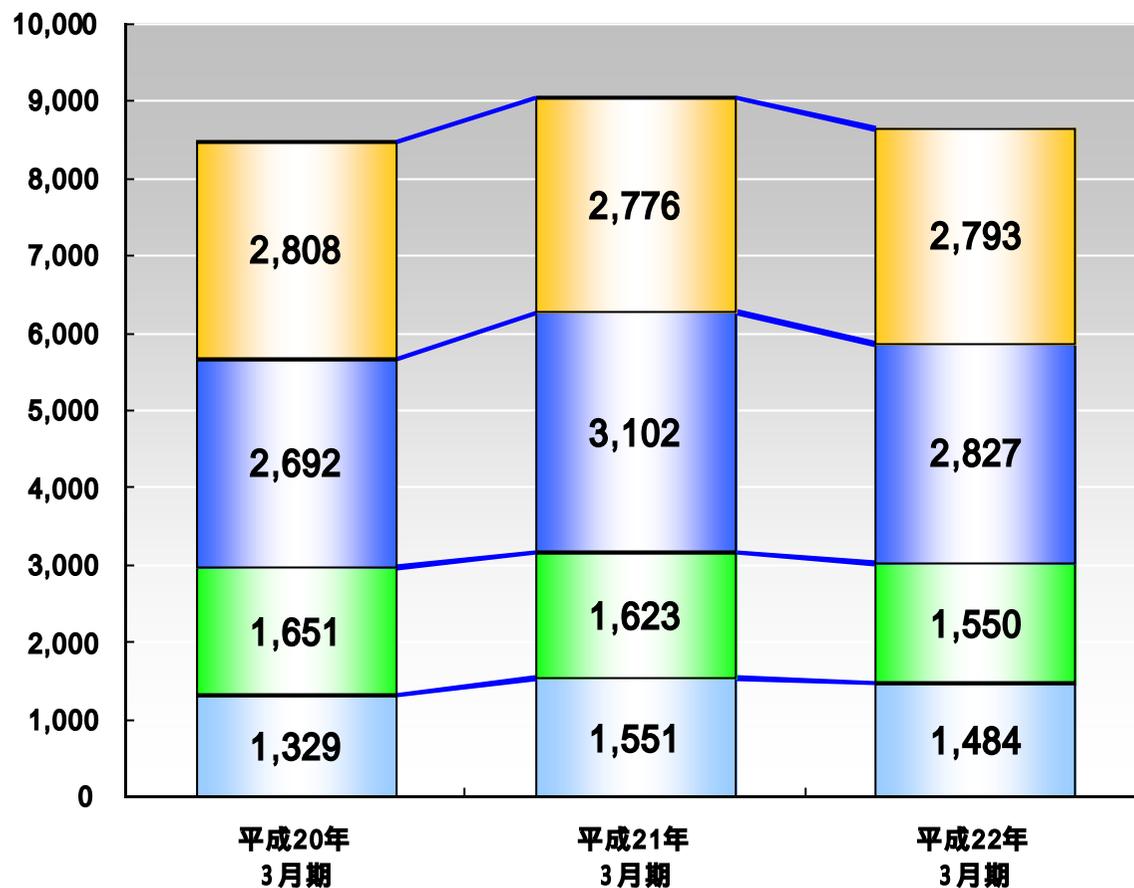
区分	内容	売上高 (百万円)	前期売上高 (百万円)	前期比 (%)
システム販売	・画像処理システム ・農業生産管理システム ・生コン業界向けシステム等の販売 ・自社パッケージシステム	2,793	2,776	0.6%増
システム運用・管理等	・ユーザシステムの運用・管理サービス ・アウトソーシング・データセンタ	2,827	3,102	8.8%減
ソフトウェア開発	・製造・流通・金融業等のアプリケーションの受託開発	1,550	1,623	4.5%減
機器等販売	・パソコン・サーバ及び周辺機器 ・パッケージソフト等の販売	1,484	1,551	4.3%減
合 計		8,656	9,053	4.4%減

- 「システム販売」は、画像処理システム及び生コンクリート業界の案件が活発化してきているものの、自社パッケージ等の受注状況が厳しくし、前年度並みとなる見込みです。
- 「システム運用・管理等」、「ソフトウェア開発」、「機器等販売」は、厳しい状況が続き、減収の見込みです。

平成22年3月期 事業区分別業績予想

売上高

(単位:百万円)

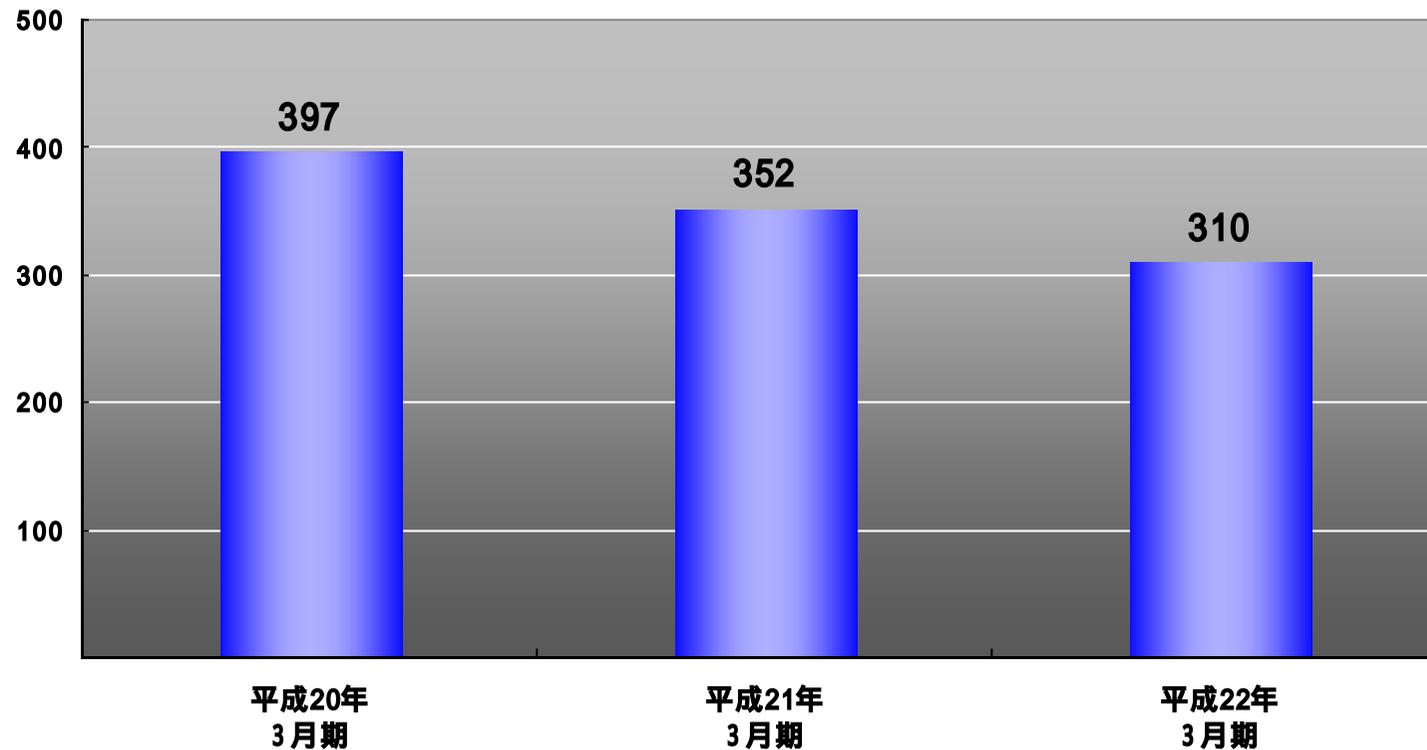


- システム販売**
 - 画像処理システムは堅調
 - 生コン業界向けシステムは好調
 - 自社パッケージは受注減少
- システム運用・管理等**
 - データセンタ業務は堅調
 - 運用支援・コンサルは減少
- ソフトウェア開発**
 - 案件減少
- 機器等販売**
 - 案件減少

平成22年3月期 営業利益予想

営業利益

(単位:百万円)



- 売上の減収に対し、原価低減対策を実施しますが、減益の見込みです。

1 1 中期経営計画の進捗状況

1 1 中期経営計画

世界的な景気後退局面が継続し、IT関連投資は減少
(景気の後退局面は、2年間続くと想定)

基本
方針

既存ビジネスモデルの見直し

戦略事業分野への選択と集中

体質
強化

経営基盤の強化

分野別施策への取り組み

拡大事業分野 事業基盤の拡大

ソフトウェア開発

ERPパッケージ

導入・コンサル

システム販売

画像処理システム

独自システム商品の拡販

自社パッケージ商品

既存事業分野 収益性の向上

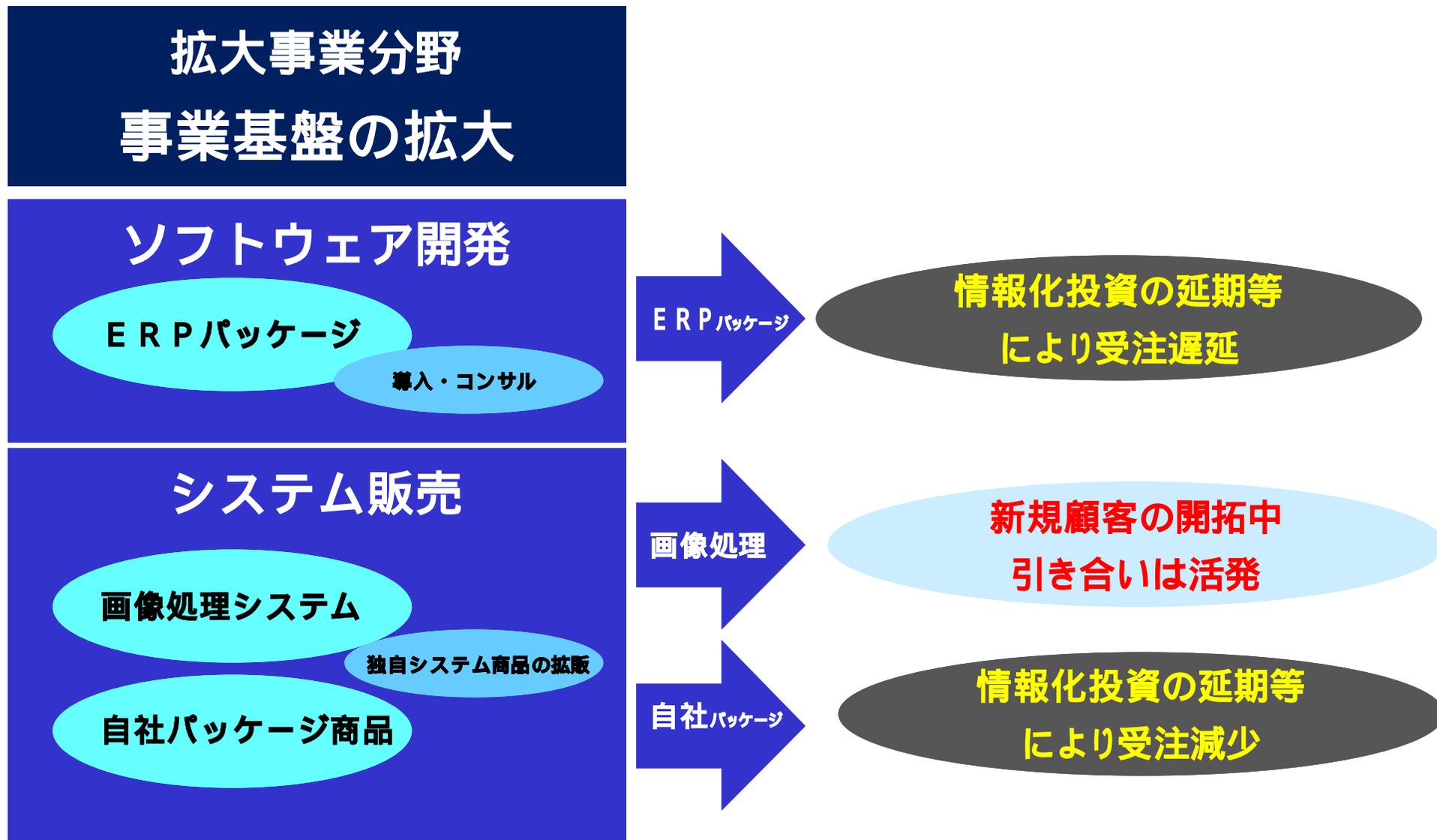
ソフトウェア開発 システム運用・管理等 機器等販売

当社ビジネスモデル
の再検討

グループ協業体制

事業性の
改善・改革

分野別施策への取り組み状況



分野別施策への取り組み状況

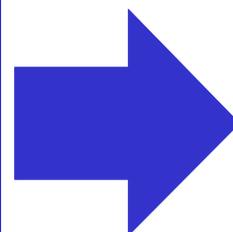
既存事業分野
収益性の向上

ソフトウェア開発
システム運用・管理等
機器等販売

当社ビジネスモデル
の再検討

グループ協業体制

事業性の
改善・改革

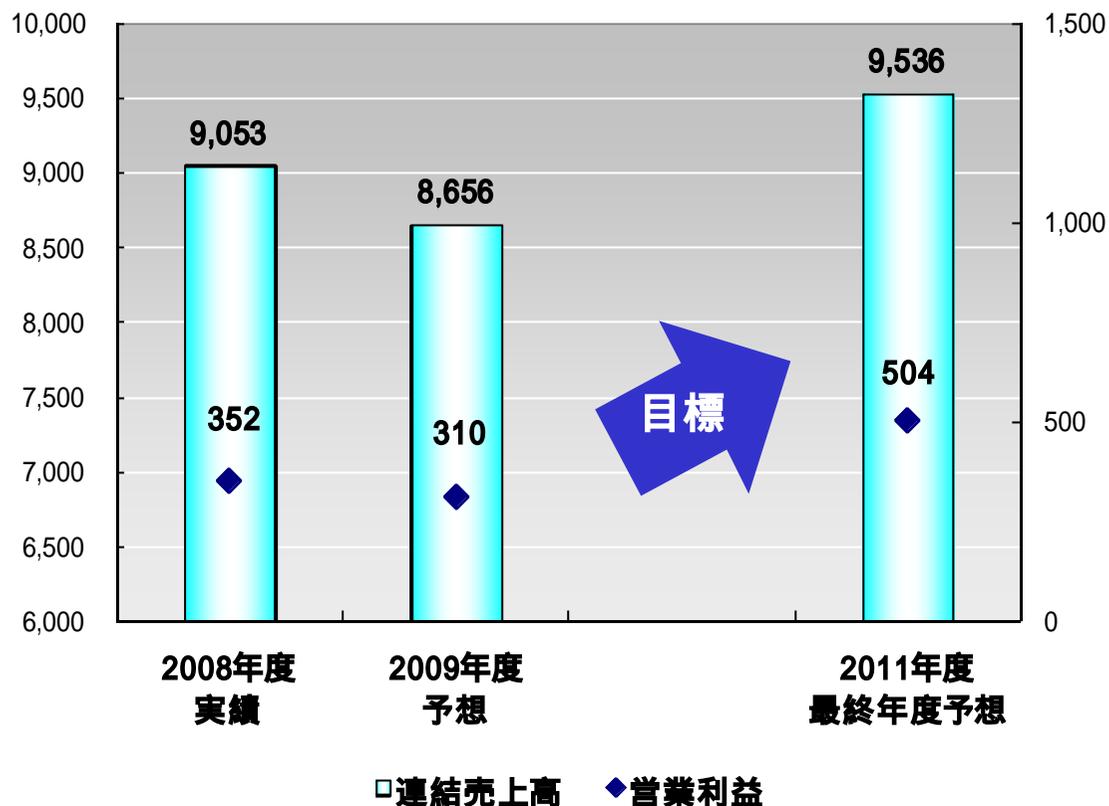


グループ協業体制は
定着

事業性の改善・改革は
進展中

1 1 中期経営計画の数値目標

(単位 百万円)



2011年目標

売上高 95 億円
営業利益 5 億円

- 今期の状況を踏まえ、12中期経営計画の策定に着手

見通しに関する注記事項

本資料中の予想は、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成されており、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合がありますので、その点ご承知おき頂きますようお願い致します。

お問合せ先は、下記にお願いします。

- ・ パシフィックシステム株式会社 総合企画部 経営企画グループ
- ・ 主事 小崎 洋
- ・ 電話 : 03 - 5847 - 4700
- ・ FAX : 03 - 5747 - 4710
- ・ URL : <http://www.pacific-systems.co.jp/>

